

報道関係者各位

2026年10月5日

SWCC株式会社

異文化経営学会「2026年度学会賞（団体部門）」を受賞

～DE&I推進の取り組みが評価され、同賞の初回受賞企業に～

SWCC株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 CEO 社長執行役員：小又哲夫、以下「当社」）は、異文化経営学会 2026 年度第 2 回研究大会において、「2026 年度異文化経営学会賞（団体部門）」を受賞しました。授賞式は 2026 年 10 月 4 日に早稲田大学国際会議場で執り行われました。



（授賞式の様子：（左）SWCC(株) 長谷川隆代 代表取締役会長、（右）馬越 恵美子 異文化経営学会会長）

■背景

当社は、「多様な人材の活躍がイノベーションを生み出し、企業価値向上につながる」という考えのもと、DE&I（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）の推進を経営戦略の重要課題として位置付け、グループ一体となって推進してきました。

2021 年 4 月の「女性活躍推進プロジェクト」発足以降、推進体制を段階的に強化し、全従業員が働きがいを感じ、能力を最大限に発揮できる組織づくりを進めています。

こうした取り組みが評価され、今回、異文化経営学会「2026 年度学会賞（団体部門）」を受賞しました。

■受賞について

異文化経営学会の「学会賞」は、異文化経営およびダイバーシティ・マネジメントの発展に寄与し、優れた取り組みを実践している企業・団体を表彰するものです。当社は、DE&I 推進を経営戦略の重要課題として位置付け、多様な人材が活躍できる組織づくりを推進してきました。この点が評価され、今回の受賞に至りました。

なお、本賞は 2026 年 2 月に創設されており、当社は、初回の受賞企業となります。

また、同研究大会では、当社代表取締役会長 取締役会議長の長谷川隆代が招聘講演を行いました。講演テーマは、「研究者として、女性経営者として ～SWCC（株）の経営改革に関わって今思うこと～」です。研究者および経営者としての経験を踏まえ、SWCCにおける経営改革やダイバーシティ経営の実践について講演しました。

今回の受賞は、社員一人一人が多様な価値観や経験を尊重しながら挑戦を続けてきた成果であり、SWCCグループの持続的な成長と企業価値向上に向けた取り組みが外部から評価されたものです。SWCCグループは今後も、多様な人材が活躍できる職場環境づくりを推進するとともに、DE&I を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■関連リンク

異文化経営学会ホームページ：<https://ibunkakeiei.com/>

授賞式のサイト <https://ibunkakeiei.com/s-board/detail.cgi?sheet=hp1&no=921>

当社ホームページ | ダイバーシティ&インクルージョン：

<https://www.swcc.co.jp/jpn/sustainability/diversity.html>

■異文化経営学会について

異文化経営学会（Transcultural Management Society）（会長：馬越恵美子）は、異文化経営、ダイバーシティ・マネジメント、グローバル経営などに関する研究と実践の発展を目的とする学術団体です。2003 年に設立され、現在は 460 名以上の会員がおり、研究大会や地域部会、機能部会、英語でのセッションなど広範囲に活動を行っています。研究者と実務家のコラボレーションも特徴のひとつです。「インクルーシブで活発な学会活動を通じて、文化、国籍、言語、ジェンダー、宗教、年齢、障害などのあらゆる枠を越え、すべての人が生き生きと活躍する社会を創出し、豊かで平和な社会と人々の幸せを目指す」というパーパスを掲げています。

■SWCC株式会社について

1936 年の設立以来、電気や通信が安心して使える社会を支えてきました。現在は、エネルギー・インフラと通信・コンポーネントの 2 つのセグメントをコア事業としています。新しい事業創造に挑戦し続けることで総合電線メーカーの枠を越えてきた当社は、モノづくりを起点にして社会課題に向き合うソリューション提案型の価値創造企業へと進化しています。SWCCは 2026 年に創立 90 周年を迎え、今後もグローバルに挑戦を続ける 100 年企業に向けて「変革」と「成長」を続けてまいります。

「いま、あたらしいことを。いつか、あたりまえになることへ。」

詳細については、[SWCCのウェブサイト](https://www.swcc.co.jp)をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

SWCC株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報グループ

inq-sonota@swcc-g.com